

河合隼雄文化庁長官が奈文研を視察

平城宮跡解説ボランティアと懇談

2002年10月24日、河合長官は解説ボランティア50有余名と懇談をされました。出席者から、復原建物を始め120haの広大な公開活用と来訪者へ最適な環境を提供するためには、自らの知識の向上とともに資料館展示物の更新、わかりやすい案内板の設置、ゴミ等を投棄させない工夫、また、京奈和道路、近鉄電車の問題や博物館相当施設への充実が必要と提案がありました。

河合長官から、次のお話がありました。平城宮跡解説ボランティア事業は、文化庁「ボランティア通信第1号」でも高く評価し活動を紹介していますが、解説ボランティアの必要性和在り方については、何事も活動を通し、皆様の思いを満たすことが大切で、国、自治体、地域の理解と共通認識があつたうえで、ボランティアと行政が、連携協力しその度合いを高めていくことも必要と説明がありました。さらに、活動を通した文化の振興のためには、今後も皆様の責任の範囲で協力と活動をお願いしたいが、これまで以上の満足感を得るためには、皆様が現在の知識で解説するだけでなく、お金を払ってでも積極的な学習を展開し活動に参加して欲しいとの激励がありました。（管理部文化財情報課 大山達夫）



ボランティアとの懇談風景